ホーム＆ライフソリューション

HITACHI
Inspire the Next

日立真空ジャーポット

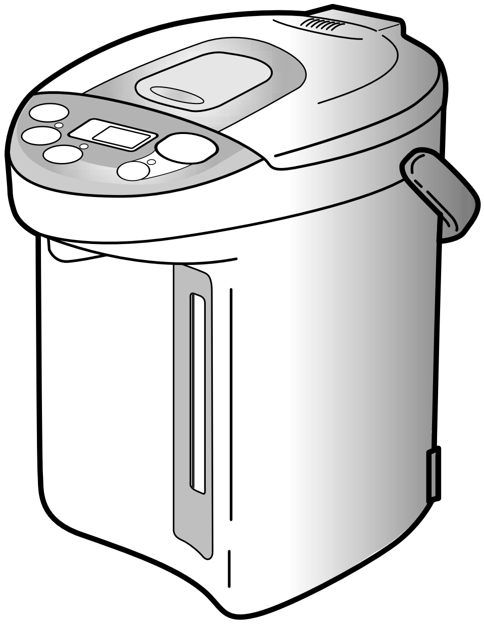
取扱説明書

〈保証書付〉裏表紙についています

家庭用

ＪＰ-Ｖ３０形
（容量3.0L）

ＪＰ-Ｖ２２形
（容量2.2L）



■真空・電気保温方式
ステンレス真空容器と電気保温を採用した経済的な保温方式です。

■コードレス給湯
アルカリ乾電池単3形2本で電源コードを使わなくても給湯できます。
乾電池は、別途お買い求めください。

このたびは日立真空ジャーポットをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。お読みになったあとは、大切に保存してください。

もくじ

安全のため必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

⚠ この記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意内容が描かれています。

⃠ この記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

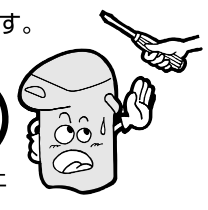
❗ この記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な指示内容が描かれています。

⚠警告

●改造はしない。また修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理をしない

火災・感電・けがの原因になります。
修理はお買い上げの販売店または別紙のお客様ご相談窓口にご相談ください。

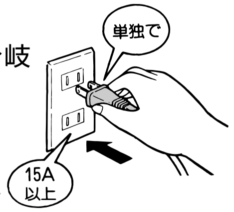
分解禁止



●定格15A以上のコンセントを単独で使う

他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

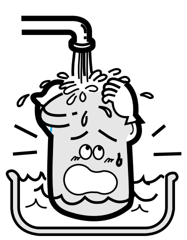
コンセントを単独で使用



●水につけたり、水をかけたりしない
●流し台など水にぬれた場所に置かない

ショート・感電の恐れがあります。

水ぬれ禁止



●満水表示以上の水を入れない

湯がふきこぼれ、やけどの恐れがあります。

禁止

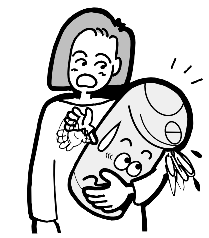


⚠警告

●本体を抱きかかえたり、傾けたり、ゆすったり、上ぶたを持って移動や排湯をしない

自動ロックされていても、本体を傾けたり倒したりすると注ぎ口や蒸気口から湯が流れ出て、やけどの恐れがあります。

禁止



●蒸気口をふきんなどでふさがない

湯がふきこぼれて、やけどをすることがあります。

禁止



●子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない

やけど・感電・けがをする恐れがあります。

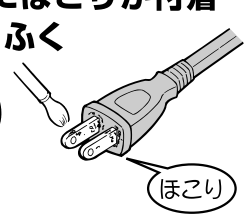
禁止



●差込みプラグの刃（プラグの先端）および刃の取付面にほこりが付着している場合はよくふく

火災の原因になります。

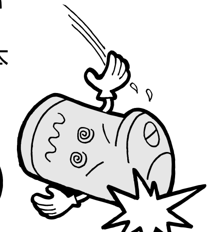
ほこりをふく



●ポットを転倒させない

自動ロックされていても、本体を傾けたり倒したりすると注ぎ口や蒸気口から湯が流れ出て、やけどの恐れがあります。

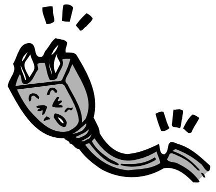
禁止



●電源コードや差込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

感電・ショート・発火の原因になります。

禁止



●マグネットプラグをなめさせない

感電やけがの原因になります。

特に乳幼児が誤ってなめないよう注意してください。

禁止



●上ぶたを勢いよく閉めない

湯がふきこぼれ、やけどの恐れがあります。

禁止



●交流100V以外では使用しない

火災・感電の原因になります。

禁止



安全のため必ずお守りください　つづき

⚠ 警告

●蒸気口に手を触れない

やけどをすることがあります。

特に乳幼児にはさわらせないようご注意ください。

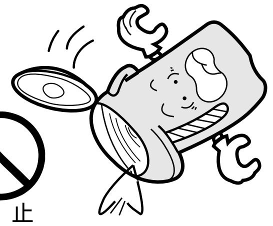
接触禁止



●上ぶたをつけたまま残り湯をすてない

上ぶたがはずれたときに湯がかかってやけどする恐れがあります。

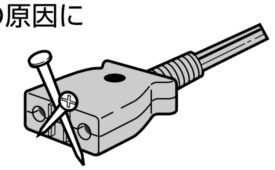
禁　止



●マグネットプラグ（磁石式）の先端にピン等金属片やごみを付着させない

感電・ショート・発火の原因になります。

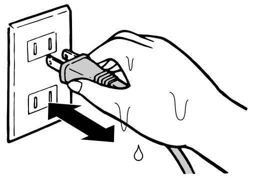
禁　止



●ぬれた手で差込みプラグを抜き差ししない

感電やけがをすることがあります。

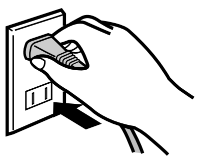
ぬれ手禁　止



●差込みプラグはコンセントの奥までしっかり差し込む

感電・ショート・発煙・発火の恐れがあります。

差込みプラグをしっかりと差し込む



●氷を入れて保冷用に使わない

結露が生じ、感電、故障の恐れがあります。

禁　止



●水以外の物をわかさない

お茶、牛乳、酒などはわき上がるときにふき出してやけどの恐れがあります。

禁　止



●上ぶたは確実に閉める

倒れたときに湯が流れ出てやけどの恐れがあります。

上ぶたは確実に閉める



●電源コードを傷つけない

無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、高温部に近づけたり、重い物をのせたり、挟み込んだり、加工したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

禁　止



⚠ 注意

●湯わかし中は、湯を注がない

湯が飛び散りやけどの原因になります。

禁　止



●使用時以外は、差込みプラグをコンセントから抜く

けがやけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

差込みプラグを抜く



●不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使用しない

火災の原因になります。

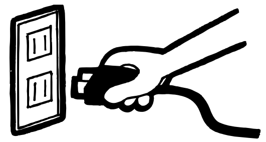
禁　止



●差込みプラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の差込みプラグを持って抜く

感電やショートして発火することがあります。

差込みプラグを持って抜く



●使用中や使用後しばらくは高温部に触れない

やけどの原因になります。

接触禁止



●上ぶたを開けるとき、出る蒸気に触れない

やけどの原因になります。

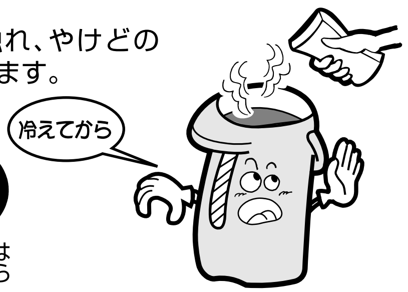
接触禁止



●お手入れは冷えてから行う

高温部に触れ、やけどの恐れがあります。

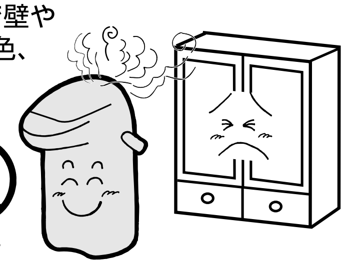
お手入れは冷えてから



●壁や家具の近くで使わない

蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色、変形の原因になります。

禁　止

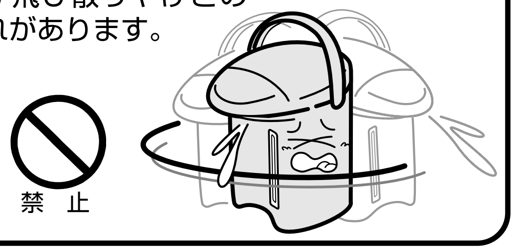


安全のため必ずお守りください つづき

⚠ 注 意

●出湯中に本体を回さない

湯が飛び散りやけどの恐れがあります。



●本体を持ち運ぶときは、上ぶた開閉レバーに触れない

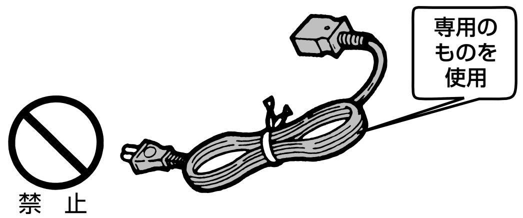
上ぶたが開いてけがややけどをすることがあります。



●専用の電源コード以外は使用しない

●電源コードは他の機器に転用しない

故障、発火の恐れがあります。



お 願 い

●空だきはしない 火災・故障の原因になります。

●落とす、ぶつけるなどの衝撃を与えない

故障・破損の原因になります。

●キッチン用収納棚などの上で湯わかしをする場合、蒸気が天井部分に当たらないように注意する

変色や変形の原因になります。

●パネル部には湯がかからないように注意する 故障の原因になります。

●水以外の物(氷・スープ・牛乳・レトルト食品・お茶など)は入れない

ティーバッグやお茶の葉を入れてわかしたり、インスタント食品を調理したりすると泡立ち、内容物がふき出してやけどをすることがあります。
また水路がつまったり内容器のこげつきや腐食、フッ素被膜がはがれる原因になります。

●本体を引きずって移動しない

机などに傷のつく恐れがあります。

●熱源のそばで使わない

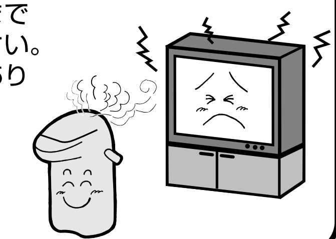
火災・故障の原因になります。

●凍結する恐れのある場所に長時間電源を切って放置する場合は、必ず内容器内の水を完全にすてる

凍結による故障の原因になります。

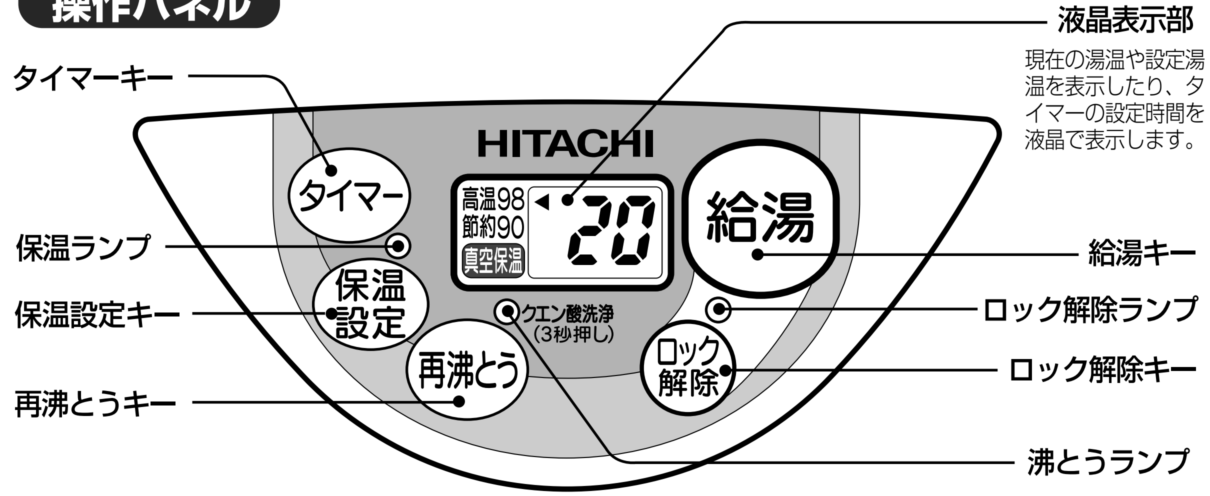
●ラジオなどの近くで使わない

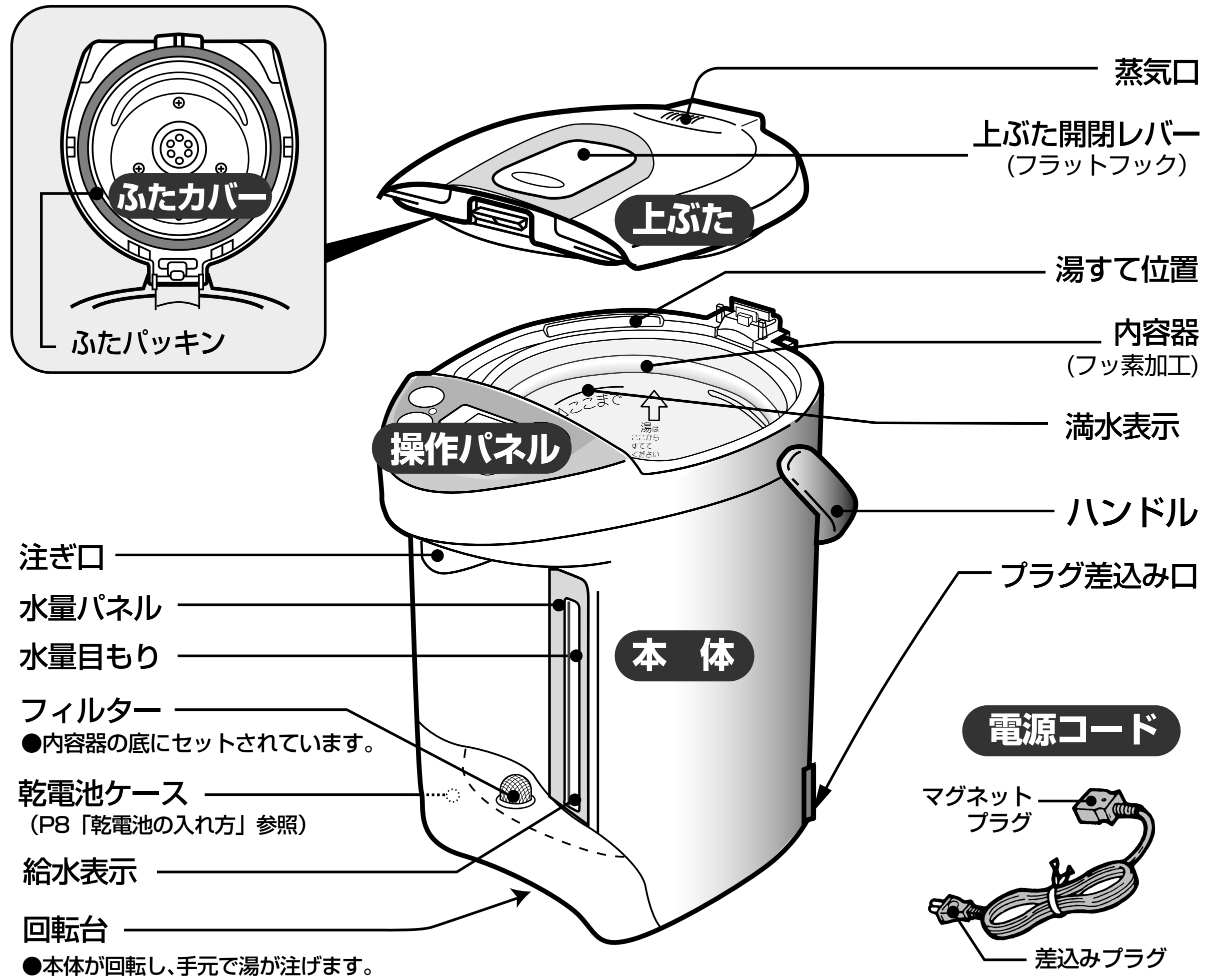
ラジオ、テレビ、無線機、インターホンなどへの影響のないところまで離して使ってください。
雑音が入る恐れがあります。



各部のなまえ

操作パネル



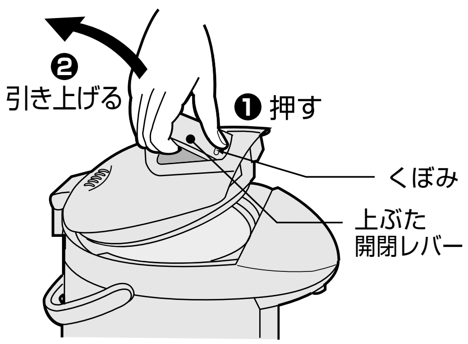


正しい使い方

初めてお使いになるときや、長期間お使いにならなかった場合は、一度湯をわかし、ロックを解除して「給湯」キーを押して湯を吐出した後、ご使用ください。
また、使い初めはプラスチックなどのにおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。

上ぶたの開け方

「上ぶた開閉レバー」のくぼみを押して引き上げ、上ぶたを開ける。

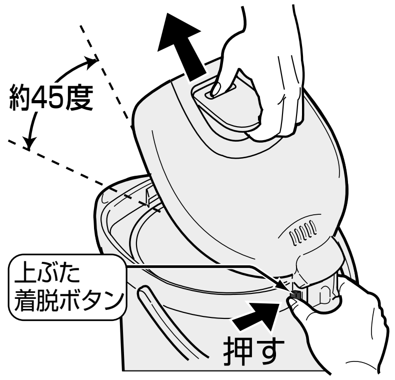


上ぶたの取りはずし方

上ぶたを約45度開け「上ぶた着脱ボタン」を押した状態で、上ぶたを斜め上に引く。

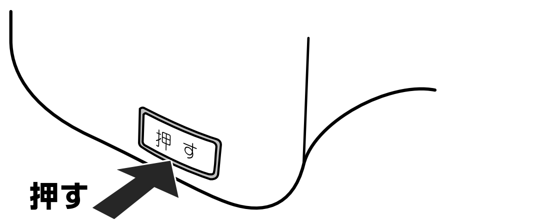
取りつけるときは

斜め上から奥まで元どおり押し込む。

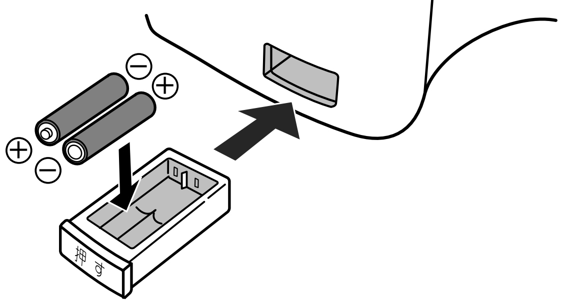


乾電池（アルカリ乾電池 単3形・2本）の入れ方

1 乾電池ケースを押し、本体から乾電池ケースをはずす。



2 乾電池を乾電池ケースに入れ、本体にセットする。



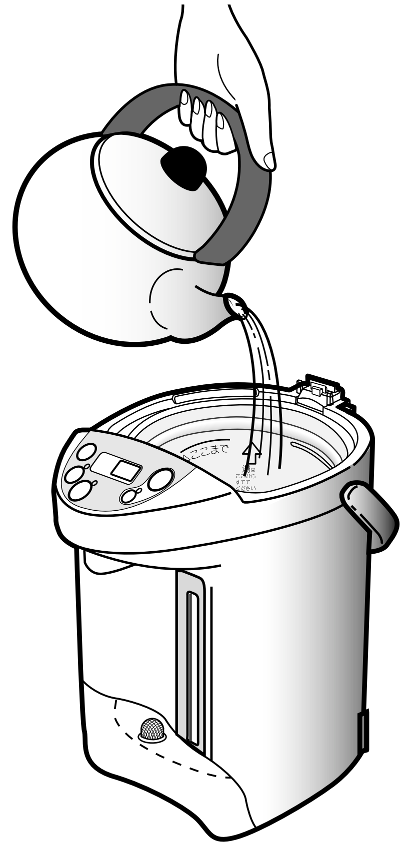
●⊕⊖をまちがえないよう、正しく乾電池を乾電池ケースに入れる。
●乾電池ケースを「カチッ」と音がするまで本体に押し込む。

お願い

乾電池の使い方を誤ると、液もれ・破裂・発熱の恐れがあり、けがや故障の原因になります。次のことを必ず守ってお使いください。

■本品を使用しないときは、必ず乾電池を乾電池ケースから出して保管する。
■乾電池は、絶対にショート・充電・分解・加熱・火に入れるなどしない。
■新しい乾電池と古い乾電池、種類の違う乾電池(メーカーが異なる乾電池など)を混ぜて使わない。
■使いきった乾電池はすぐに乾電池ケースから取り出して交換する。
また乾電池を交換するときは2本同時に交換する。
■充電式(ニカド)電池は、寸法・形状・性能の一部が異なるので使用しない。
■**乾電池は市販のアルカリ乾電池(単3形)を使用する。**

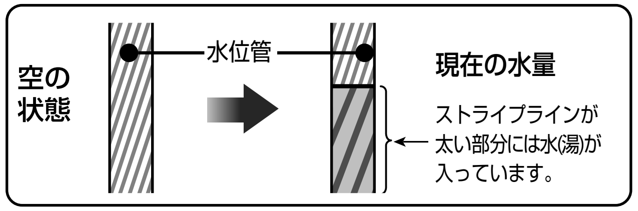
1 上ぶたを開け、水を入れる



●水は水道の蛇口から直接入れず、別の容器で入れる。(あふれるとショート・感電の恐れ)
●満水表示以上、水を入れない。(湯がふき出し、危険)
●本体および操作パネルに水がかからないように注意する。(感電・故障の原因)
●フィルターがセットされているか確認する。

※熱湯を入れると空だき防止機能がはたらくことがあります。（「空だき防止について」参照）

■水量により水量パネルの水位管のストライプラインの太さがかわります。



上ぶたを閉める

「カチッ」と音がするまで確実に押し込む。

●上ぶたを開閉するとき「カラカラ」という音がしますが異常ではありません。
（P17「故障かなと思ったら」参照）

空だき防止について

次のようなときは、過熱による故障を防ぐために空だき防止機能がはたらいてヒーターへの通電を止め、表示でお知らせします。



原因
●水を入れずに湯わかしした
●給水表示以下の水量でわかした
●湯を使いきったまま放置したり、給水するため、上ぶたを開けたまま放置した
●プラグを接続後、すぐ熱湯を入れた

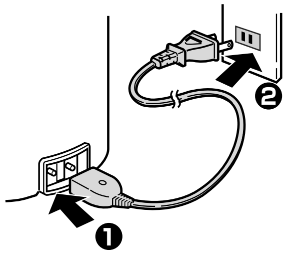
処置
内容器が十分冷めてから水を入れ、（再沸とう）キーを押す

※空だきを繰り返すとフッ素被膜が変色したり、はがれたりする原因になります。

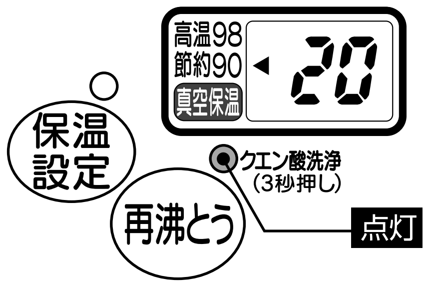
正しい使い方 つづき

2 湯をわかす（蒸気セーブ）→ 保温（節約90保温）

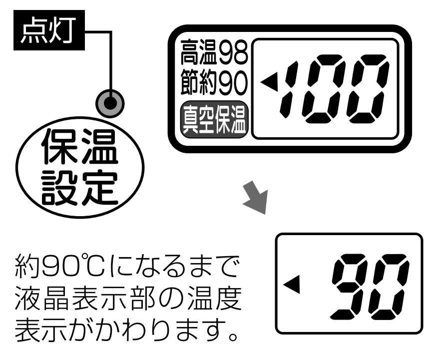
プラグを接続すると、自動的に湯わかし開始（蒸気セーブ）



沸とうランプが点灯し、液晶表示部に水温を5度きざみで表示します。



湯わかしが完了→保温
（沸とうランプが消灯、保温ランプが点灯）



約90℃になるまで液晶表示部の温度表示がかわります。

蒸気セーブ

沸とう直前にヒーターのパワーを下げ、壁や家具への影響が気になる蒸気の量をセーブします。

※湯の量が少ない場合や再沸とう時は蒸気セーブにならないことがあります。

- ●沸とうランプ点灯中は上ぶたを開けない。
- ●沸とう中は湯を注がない。
- ●蒸気口にふきんをかけない。
- ●蒸気口から出る蒸気に注意。 (やけどの恐れ)

■湯わかしが終わるまでの時間(室温20℃、水温20℃、満水の場合)

JP-V22	JP-V30
約20分	約25分

※この時間には沸とう後のカルキとばし時間(約3分)が含まれています。

保温中に湯が少なくなったら水をつぎ足してください。(自動的に湯わかしを始めます。)

※つぎ足す水の量が少ないと、沸とうしない場合があります。その場合は「再沸とう」キーを押してください。

※水をつぎ足す場合、蒸気に注意。(やけどの恐れ)

●高温保温を続けるため、室温が高い場合は本体の外側が約60℃になりますが、異常ではありません。

3 湯を注ぐ



ロック解除 キーを押す

ロック解除ランプが点灯し、湯が注げる状態になります。



給湯 キーを押して湯を注ぐ

注ぎ終わると約10秒後にロック解除ランプが消え、自動給湯ロックがかかります。

※注がないときも約10秒後にロックされます。

- ■注ぐとき本体が回らないように注意。(やけどの恐れ)
- ■本体を回すとき電源コードが巻きつかないように注意。(転倒の恐れ)
- ■上ぶたは勢いよく閉めない。(湯がふき出しやけどの恐れ)
- ■内容器が空のとき、ロック解除して「給湯」キーを押さない。(故障の原因)

※ロック解除ランプが消えているときは湯は出ません。

※1杯目の湯は、ぬるくなることがあります。

※沸とう後しばらくは湯が出にくいことがあります。

※湯わかしおよび保温中は本体が熱くなりますので注意してください。

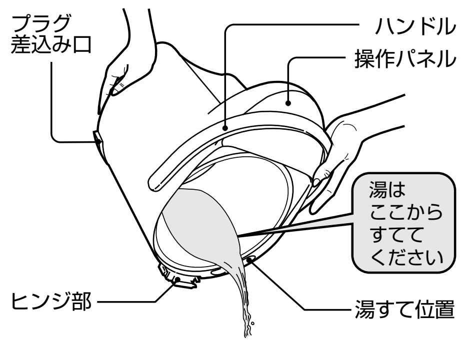
自動給湯ロックとは うっかり「給湯」キーに触れたとき、湯が出ない安全機能です。

4 残り湯をすてる

①プラグを抜き、上ぶたをはずす。

②右図のように両手で本体を持つ。

③内容器の湯すて位置から残り湯をすてる。



- ●上ぶたは必ずはずして湯をすてる。(上ぶたがはずれ、やけどの恐れ)
- ●すべらないようにしっかり持ってすてる。
- ●ぬれた手で差込みプラグやマグネットプラグを持たない。(ショート・感電の恐れ)
- ●操作パネルやヒンジ部・ハンドル・プラグ差込み口・乾電池ケースに湯がかからないよう注意。(やけどや故障の原因)
- ●注ぎ口からのしずくが手にかからないよう注意。(やけどの原因)
- ●1日1回は残り湯をすてる。(水アカ付着の原因)

※フィルターをなくさないでください。

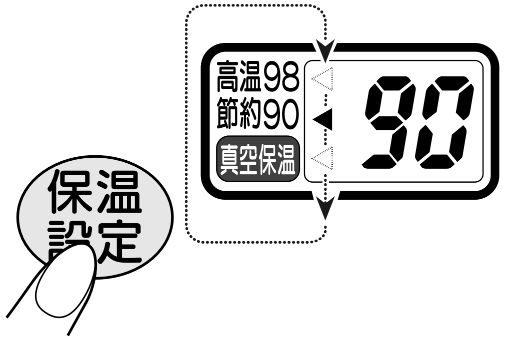
保温設定をかえる

(保温設定) キーを押し、温度表示部の「◀」マークを希望の保温設定に合わせる。

「保温設定」キーを押すたびに表示部の「◀」マークが移動し、設定がかわります。

節約90 → 高温98 → 節約90 → 真空保温
(初期)

※初期は90℃に設定されています。



※保温温度の設定は保温中でもできます。
(この場合、湯温により沸とうに入る場合があります。)

<高温98保温>

98℃はコーヒーや紅茶、カップめんに適した温度です。

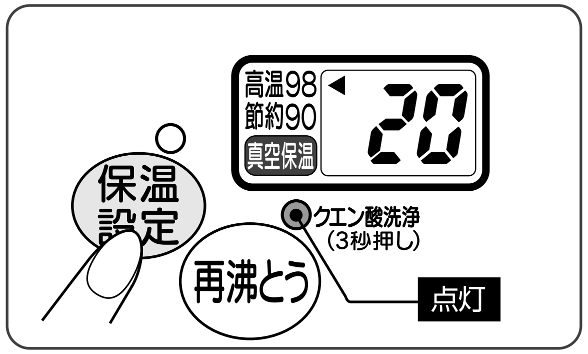
<真空保温>

沸とうが完了するとヒーターへの通電を切り、ステンレス真空構造によって保温するので、電気代の節約になります。

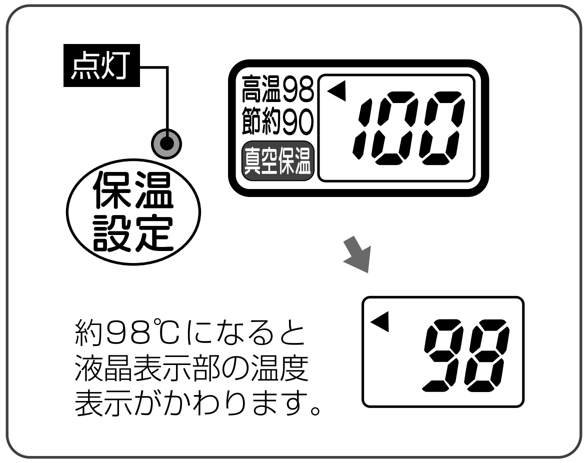
※プラグがはずれた場合、液晶表示点灯中にプラグを再び接続すると設定していた温度で保温します。
液晶表示が消えた後、プラグを再び接続すると90℃保温設定に戻りますので高温98保温、真空保温を使う場合は改めて設定してください。

高温98保温

湯わかし中に (保温設定) キーを押し、表示部の「◀」マークを「高温98」に合わせる。



湯わかしが終わると沸とうランプ消灯し、保温ランプが点灯



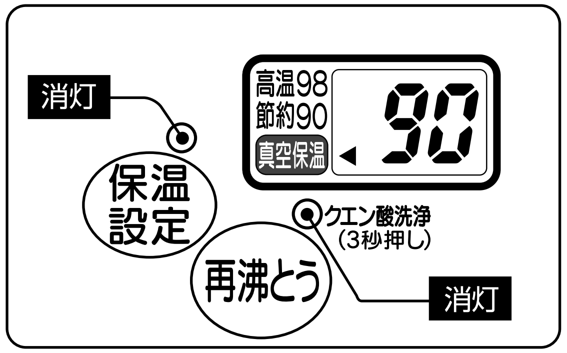
■高温98保温の設定は保温中でも行えます。

節約90保温に戻すときは

(保温設定) キーを押し、温度表示部の「◀」マークを「節約90」に合わせる

真空保温

(保温設定) キーを押し、表示部の「◀」マークを「真空保温」に合わせる



■真空保温に設定した場合の湯温

湯わかし完了から	2時間後	4時間後	6時間後
JP-V22	約88℃	約76℃	約68℃
JP-V30	約92℃	約83℃	約76℃

(室温20℃、満水の場合の容器中央値)

■湯温は徐々に降下していきますが、真空保温の場合は実際の湯温より低い温度を表示することがあります。

■真空保温中に、湯温が降下した場合や水をつぎ足した場合など、**湯温が低くなっても自動的に湯わかしは始めません。**
必ず「再沸とう」キーを押してください。

■湯わかし中に設定すると、湯わかし完了後に真空保温になります。

■節約タイマーを使った場合は、設定時間後に湯わかしが完了します。

高温98・節約90保温に戻すときは

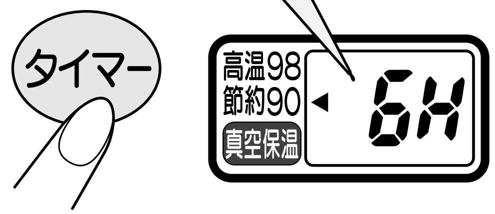
(保温設定) キーを押し、温度表示部の「◀」マークを「高温98」「節約90」に合わせる
(一度沸とうしてから、高温98・節約90保温に戻る場合があります。)

節約タイマー

節約タイマーをセットすると、いったんヒーターへの通電が止まり、希望の時間に湯わかしが完了しています。

(タイマー) キーを押し、希望の時間をセットする

キーを押すたびに設定時間が切りかわります。
→6H→7H→8H→9H→10H→(取消)



節約タイマーが自動的にスタート
液晶表示部に残りの時間を表示

設定時間後に湯わかしが完了
沸とうランプが消灯、保温ランプが点灯

※保温設定位置はそのまま保たれます。

※タイマー設定中も保温設定できます。

※一度プラグがはずれると節約タイマーは解除されますので改めて設定してください。

※節約タイマーを取り消すときは、「タイマー」キーを数回押すか、「再沸とう」キーを1回押してください。

正しい使い方 つづき

再沸とう

保温中の湯を再びわかすときに使います。

再沸とう キーを押す

再沸とう開始
（沸とうランプが点灯）



↓

再沸とうが完了→保温
（沸とうランプが消灯、保温ランプが点灯）

■再沸とうが終わるまでの時間 （室温20℃、満水）

「90」保温の場合	「98」保温の場合
3～5分	1～2分

※再沸とう時は、蒸気セーブにならないことがあります。

※再沸とうさせるときは、給水表示以上の湯が入っていることを確かめてから「再沸とう」キーを押してください。

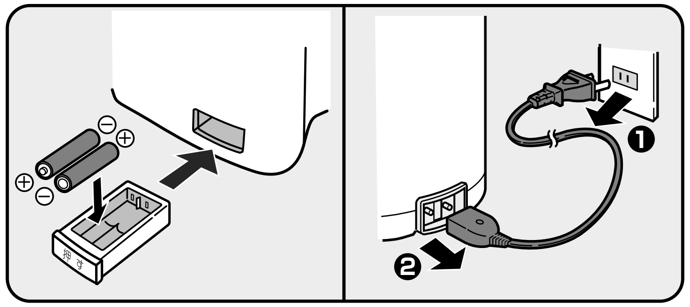
コードレス給湯

電源コードなしでも給湯できる便利な機能です。

1 電源コードをはずす前に乾電池を本体に入れる
（P8「乾電池の入れ方」参照）

2 電源コードをはずす

3 湯を注ぐ
（P11「正しい使い方」参照）



コードレス時は…

- 電源コードをはずしてから乾電池を入れた場合、動作しないことがあります。その場合は再度電源コードを接続してください。
- 給湯以外のキー操作(保温、湯わかしなど)はできません。
- 時間の経過とともに湯温は下がります。**1時間後で約5℃下がります。**
  (満水、室温20℃/内容器の湯量が少ないほど早く下がります。)
- 電源コード使用時に比べ、給湯量が少なめになります。
  また、連続して給湯すると湯が出にくくなることがあります。
  そのときは一度給湯をやめて、数秒待ってから再度給湯してください。
- 電源コードをはずしてから約5時間後に液晶表示が消え、湯が注げなくなります。
  (乾電池が入ってない時は、電源コードをはずしてから約1時間は液晶表示しますが湯は注げません。)

■乾電池の寿命の目やす(別売)

アルカリ乾電池（単3形・2本）		※新しい乾電池でも長時間乾電池ケースに入れたままで使わない場合、所定の性能を満足しないことがあります。
給 湯 量	約250L	

お手入れ

※必ずプラグを抜き、残り湯をすて本体が冷めてからお手入れしてください。

内容器

水に浸したスポンジなどで洗い、水ですすぐ。

- フッ素加工を施していても、長時間お手入れをしない場合、水アカなどがこびりついて、汚れが落ちにくくなります。
- クレンザーやたわし類は使わないでください。フッ素被膜が傷み、汚れが落ちにくくなります。
- 洗剤は使わないでください。洗剤成分が残り、ふきこぼれて危険です。

変色および白い浮遊物について

- 以下のような変色や白い浮遊物は、水に含まれる成分の作用によるもので、内容器自体の変色や腐食、フッ素被膜のはがれではなく、有害ではありません。

■ 赤さび状のはん点（もらいさび）
水中の鉄分が酸化したものです。➡スポンジなどで洗い落とす。

■ 乳白色・黒色・虹色などの変色および白い浮遊物
水中のミネラル分などによるものです。➡下記の「クエン酸洗浄のしかた」に従い洗浄する。ミネラルウォーターやアルカリイオン整水器の水はミネラル分が多く、変色や汚れ、白い浮遊物が出やすくなります。

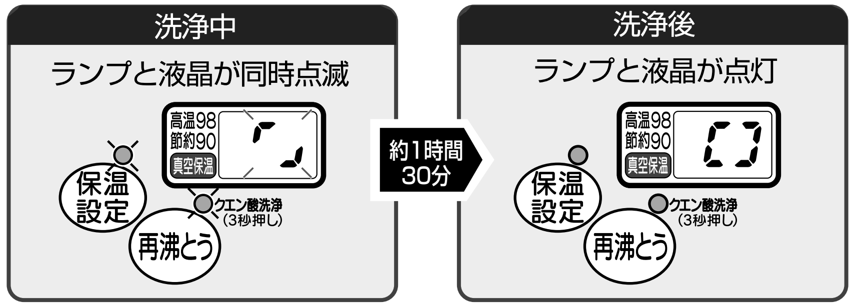
クエン酸洗浄のしかた

※フィルターが汚れている場合は、内容器からはずし、ブラシで洗って再度取り付けてください。

① コップにジャーポット洗浄用クエン酸をJP-V22は1包（40g）、JP-V30は2包（80g）を入れて、ぬるま湯で溶かす。

② 内容器に満水表示まで水を入れ、① のクエン酸を溶かしたぬるま湯を入れる。

③ プラグを接続して、再沸とう キーを3秒以上押す。



- 水は満水表示（△ここまで）以上入れない。(ふきこぼれる恐れ)
- クエン酸洗浄中の湯は飲まない。
- 洗浄時間は、サイズ・室温・水温などにより多少かわります。
- 汚れが落ちにくい場合は、繰り返しクエン酸洗浄をしてください。

④ プラグをはずして湯をすてる。

⑤ クエン酸のにおいを取るために水だけをわかし、湯をコップ1杯程度吐出させたあと、残りの湯をすてる。

途中でクエン酸洗浄を取り消すときは
プラグを5秒以上抜く。

※クエン酸洗浄後は保温設定が98になるため、90・真空保温にするときは再設定してください。

- ジャーポット洗浄用クエン酸は、日立家電品の取扱店でお求めになれます。
- ジャーポット洗浄用クエン酸は、食品添加物につき食品衛生上無害です。
- 市販のジャーポット専用の洗浄剤を使用した場合、洗浄成分が残っているとふきこぼれることがありますので、ご注意ください。

（価格は、平成14年10月現在）

商品名	商品番号	希望小売価格
ジャーポット洗浄用クエン酸（40g×4包入り）	JP-G24A	¥550（税別）

お手入れ つづき

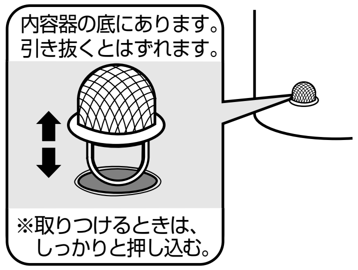
フィルター（消耗部品）について

内容器から取り外し、ブラシで洗う。

●ブラシで洗っても水あかが取れなくなったら、お買い上げの販売店で、型式名にあったフィルターをお求めになり、取り替えてください。（19ページ）

※水あかが付着しますと、お湯の出が悪くなります。こまめにお手入れしてください。

※フィルターは必ず取りつけてご使用ください。



ふたパッキン（消耗部品）について

ふたパッキンは消耗部品です。1年を目やすにご確認ください。汚れや傷みがひどくなったり、上ぶたのすきまから蒸気がもれだしたら、お買い上げの販売店で、型式名にあったふたパッキンをお求めになり、取り替えてください。（19ページ）

ふたパッキンのはずし方

①3本のネジをゆるめる。

※ネジは上ぶたからはずさない。
万一はずれた場合、ネジをなくさない。

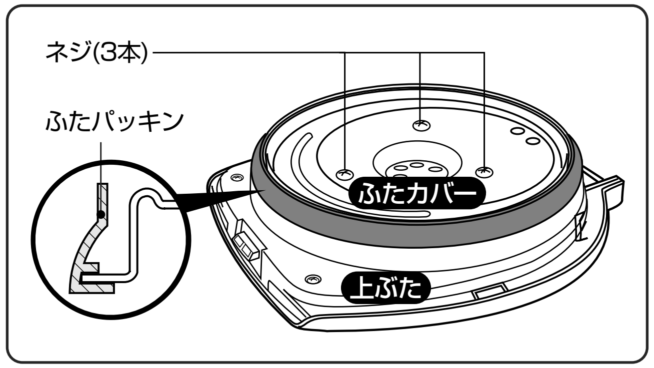
②ふたパッキンをはずす。

ふたパッキンのつけ方

①ふたカバー外周に、ふたパッキンを図の通りきっちりとはめ込む。

②ネジを確実に締めつける。

※ふたカバーをはずした場合は正しくセットしてください。



上ぶた・本体（外装）	よく絞ったふきんで汚れをふき取る。
電源コード	乾いたふきんで汚れをふき取る。
ふたカバー	やわらかいスポンジで洗い、水ですすぐ。

ご注意とお願い

■長時間お手入れをしないで使用すると、内容器に水アカや白い浮遊物がこびりついて、お手入れをする場合に手指を傷つけることがありますので、あらかじめ「ジャーポット洗浄用クエン酸」で水アカなどを除去してからお手入れしてください。

■「ジャーポット洗浄用クエン酸」でのお手入れは、1〜3ヶ月に1回行ってください。

■製品のまる洗いや操作パネル部には絶対水をかけない。また、底がぬれた状態で製品を逆さまにして乾燥させない。（内部に水が入り、故障・さびの原因）

■次のものは使わない。

•洗剤（においが残る原因） •食器洗い乾燥機や食器乾燥器（変形の原因）

•みがき粉、ナイロンたわし、金属たわし、金属ヘラなど
（内容器・内ぶたなどの傷つきやフッ素被膜のはがれの原因）

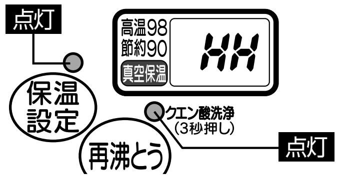
•ベンジン・シンナー（樹脂が劣化する原因）

「故障かな？」と思ったら（次の点をお調べください）

◎修理を依頼される前に下記の項目をご確認ください。いずれの場合にもあてはまらない場合には、型名とともにお買い上げの販売店または、添付のご相談窓口にご連絡ください。

症状	原因	処置
湯がわかない	プラグがはずれている。	プラグを差し込む。
	マグネットプラグの先端に金属片やごみがついている。	差込みプラグを抜いてからマグネットプラグの先端を掃除する。
湯が出ない・出にくい	自動給湯ロックになっている。	ロック解除 キーを押してから 給湯 キーを押す。（P.11「3 湯を注ぐ」参照）
	沸とう直後数分間は、湯が出にくくなることがあります。	一度上ぶたを開け、泡を逃がした後上ぶたを閉める。（上ぶたを開けたときに蒸気に注意）
	マグネットプラグの先端に金属片やごみがついている。	差込みプラグを抜いてからマグネットプラグの先端を掃除する。
	内容器・フィルターに水アカなどがついている。	内容器・フィルターを掃除する。（P.15、16「お手入れ」参照）
	プラグがはずれている。（乾電池を使用していない場合）	プラグを差し込む。
	コードレス時に ●乾電池が入っていない。 ●乾電池の入れ方が間違っている。 ●乾電池が切れている。	新しい乾電池を正しく入れる。（P.8「乾電池の入れ方」参照）
湯がぬるい	コードレスにしている。	コードレス時は時間の経過とともに湯温が下がります。（P.14「コードレス給湯」参照）
注ぎ口や蒸気口から湯が自然に出る	水を満水表示以上入れている。	水を満水表示以下に減らす。
内容器にさび状の斑点がつく	水の中の鉄分によるもので、内容器の腐食ではありません。	スポンジなどで洗い落とす。
白い浮遊物が浮く	水の成分(ミネラル分)によるもので、内容器の腐食やフッ素被膜のはがれではありません。	クエン酸で内容器をお手入れする。（P.15「お手入れ」参照）
湯わかし中に大きな音がする	内容器についた水アカなどの汚れをそのままにしておくと、音が大きくなります。	クエン酸で内容器をお手入れする。（P.15「お手入れ」参照）

「故障かな？」と思ったら（次の点をお調べください）つづき

症状	原因	処置
ランプと液晶が同時に点灯する 	水が少なかったり、熱湯を入れたため、空だき防止機能がはたらいています。(P.9「空だき防止について」参照)	内容器が十分冷めてから水を入れ、（再沸とう）キーを押す。
ランプと液晶が同時に点滅する 	クエン酸洗浄中です。(P.15「お手入れ」参照)	クエン酸洗浄を取り消す場合、差込みプラグをいったん抜き、５秒以上たってからもう一度差し込む。
上ぶたを開閉するときや沸とう中に「カラカラ」という音がする	万一転倒した場合、湯の流出を防止するためのボールや省エネのための円盤の動く音です。異常ではありません。	
湯がにおう	水道水に含まれる消毒用塩素(カルキ臭)が残ることがあります。	
湯がにおう	使い初めはプラスチックなどのにおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。	
本体が熱くなる	湯温や室温が高い場合は本体外側が約60℃になりますが異常ではありません。	

樹脂部品および内容器(フッ素加工)について	●ご使用にともない傷んでくる場合があります。お買い上げの販売店または、添付のご相談窓口にご相談ください。

仕　様

形名		JP-V22	JP-V30
定格容量		2.2L	3.0L
定格		交流100V　905W　50/60Hz	
平均保温時消費電力	高温98	約25W	
	節約90	約21W	
電源コード		1.2m	
外形寸法(cm)		幅約21.5×奥行約27.5×高さ約25.5	幅約21.5×奥行約27.5×高さ約29.5
質量(コード含む)		約2.4kg	約2.6kg
電動ポンプ(電動機)消費電力		1.3W	

●節約タイマー使用時および保温設定を「真空保温」にした場合の消費電力は、約0.4Wです。
●平均保温時消費電力とは、室温20℃で満水保温の場合です。●高さは、ハンドルを倒した場合の寸法です。
●日本国内交流100V専用(定格100V以外の電源では使用できません。)
●特定地域(高い山・厳寒地)においては、所定の性能が確保できないことがあります。こうした場所での使用はなるべくおさけください。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

■保証書（裏表紙についています）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後大切に保管してください。

- 保証期間はお買い上げの日から1年です。

■補修用性能部品の保有期間

ジャーポットの補修用性能部品の保有期間は、製造打切後5年です。

- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りの「日立家電品のご相談窓口一覧表」（別添）のご相談窓口にお問い合わせください。

■ご転居されるときは

ご転居によりお買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立家電品の取扱店を紹介させていただきます。

■修理を依頼されるときは　持込修理

17、18ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

- 保証期間中は
  修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって、販売店が修理させていただきます。
- 保証期間が過ぎているときは
  修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

■修理料金の仕組み

修理料金＝技術料＋部品代です。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費・技術教育費・測定機器等設備費・一般管理費などが含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。

■消耗部品について

以下の部品は消耗部品です。汚れや傷みがひどくなったときは、お買い上げの販売店で、下記の部品番号のものをお求めになり、交換してください。

※価格は平成14年10月現在

部品名	部品番号	希望小売価格
ふたパッキン	JP-V22 004	¥1,100
フィルター	JP-V22 005	¥　600

愛情点検

長年ご使用のジャーポットの点検を！

●ジャーポットの補修用性能部品の保有期間は、製造打切後5年です。

こんな症状はありませんか	お願い
● プラグやコードが異常に熱くなる。 ● コードに傷がついていたり、ふれると通電したりしなかったりする。 ● 蒸気が出続け、保温ランプに切り換わらない。 ● その他の異常・故障がある。	故障や事故防止のため、コンセントからプラグを抜き販売店にご連絡ください。 点検・修理について費用など詳しいことは販売店にご相談ください。

株式会社 日立ホームテック　日立ホーム&ライフソリューション株式会社
〒105−8410　東京都港区西新橋2−15−12　電話 (03) 3502−2111

日立真空ジャーポット保証書 持込修理

保証期間内に取扱説明書、本体ラベル等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、本書記載内容にもとづきお買い上げの販売店が無料修理いたします。
お買い上げの日から下記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。なお、商品をお買い上げの販売店(修理申出先)やメーカーへ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。

※型名		※ お 買 い 上 げ 日	保 証 期 間
		平成 年 月 日	本 体：1 年
※お客様	ご住所	〒	
	ご芳名	様	
※販売店	住 所		
	店 名	電話	

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
   (イ)使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
   (ロ)お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
   (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
   (ニ)車両、船舶にとう載して使用された場合に生じた故障または損傷。
   (ホ)業務用に使用されて生じた故障または損傷。
   (ヘ)本書のご提示がない場合。
   (ト)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
2. この商品について出張修理をご希望の場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. 贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には別紙の日立家電品ご相談窓口一覧表をご覧のうえ、お近くの窓口にご相談ください。
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または別紙の日立家電品ご相談窓口一覧表の窓口にお問い合わせください。
●保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書をご覧ください。

修理メモ

日立ホーム&ライフソリューション株式会社

〒105－8410 東京都港区西新橋2–15–12 電話（03）3502–2111

NH214631－01 2002-09(DC･Z)1